

総合的な学習の時間において海上自衛隊部隊の活動を実感



地上救難隊の説明を熱心に聞き入る学生達



厚木基地広報担当者による説明を熱心に聞く学生達

神奈川地方協力本部藤沢募集案内所（所長 嶋津准陸尉）は、8月3日（水）、海上自衛隊第4航空群において、清泉女学院1年生の総合的な学習の時間を支援した。

同学習では、海自の航空部隊の任務及び最新鋭対潜哨戒機P-1の機内見学をはじめ、航空基地の施設や装備品等の説明等が行われた。参加した学生からは、「海自航空部隊の任務を初めて知ることができた」「自衛隊の活動は国内外問わず実施されていることがわかった」という声が聞かれるなど、自衛隊や自衛官に対する関心が深まった様子であった。

藤沢募集案内所は、「今後も、中学高校に対する総合的な学習の時間を支援し、地域との交流を通じて防衛基盤の拡充を図りたい」としている。

高等工科大学校学生居室を見学し、整頓要領に感嘆の声



高等工科大学校概要ブリーフィングの様子



高等工科大学校内の全般案内の様子

神奈川地方協力本部藤沢募集案内所（所長 嶋津准陸尉）は、8月4日（木）、武山駐屯地（横須賀市）において、藤沢市御所見地区交通安全対策協会及び防犯協会の陸上自衛隊高等工科大学校見学を支援した。

同団体は、自主的な交通安全・防犯活動により交通違反や犯罪のない明るい地域まちづくりを目指し、地域住民の交通安全や防犯意識の高揚を図ることを目的とし活動を行っており、前身の少年工科大学を受験した経験のある者や藤沢地区募集相談員会役員をはじめ自営業、会社員、元公務員等多様な職種の方で構成されている。

学校の概要ブリーフィングでは、参加者から高等工科大学の制度や生活に対し非常に多くの質問がなされていた。また、生活居室の見学では、とても綺麗に整理された室内、特にロッカー内の整頓状況には多くの感嘆の声があがっていた。

藤沢募集案内所は、「今後も、地域における協力団体等の見学支援を積極的に実施し、地域との交流を通じて防衛基盤の拡充を図りたい」としている。

猛暑の中の鮎まつり

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山一海尉）は、8月6日（土）及び7日（日）、厚木中央公園にて開催された「第70回あつぎ鮎まつり」において、隊友会県央支部及び厚木愛甲父兄会の協力のもと、募集広報キャンペーンを実施した。

両日とも猛暑にもかかわらず、大勢の方が来場し、所員等はあらかじめ準備した団扇とリーフレットを全て配布した。配布をする際に「暑い中頑張ってください」「社会人ですけどなれますか」など様々な声をかけて頂いた。

募集広報ブースでは、自衛隊への興味があり受験を考えている方に対し、自衛官の採用試験制度や、自身の部隊経験などを懇切丁寧に説明し理解を深めてもらった。

子供用迷彩服試着コーナーでは、迷彩服を着て敬礼などのポーズを決めて記念撮影をする家族連れで賑わい、「かわいー」「大人用があったら着てみたい」など興味や関心を示す声が聞かれた。

厚木募集案内所は、「今後も、地域のイベントに積極的に参加し、自衛隊や厚木募集案内所をPRしていく」としている。